

編集後記

『言語記述論集』第8号に掲載の論文・書評は、以下の方々（匿名希望の方も含む）が読み合わせにご参加くださいました。詳細なコメントの作成にご協力いただいたことに、この場を借りて編集部から心よりお礼申し上げます。

伊藤雄馬	植田尚樹	大竹昌巳	大西正幸
長田俊樹	倉部慶太	重野裕美	白田理人
鈴木博之	千田俊太郎	林範彦	古本真
宮川創	山田真寛	吉岡乾	脇坂美和子

『言語記述論集』第8号は、これまでの7年、7つの号の積み重ねの上にあります。本号は、これまでの方針を受け継ぎながら、体制の再編を行いました。編集会議にご参加いただいた皆様、メーリングリストでご意見をいただいた皆様のご助力に感謝いたします。

『言語記述論集』は記述言語学をテーマに押し出した、日本国内においても国際的にも稀少な学術雑誌です。今後とも本誌が皆様に愛され永く続き、多くの論文が寄稿されるよう切に願います。

(2016年3月 落合いずみ記)